



# NetApp対応プラグインのインストール

## SnapCenter Software 6.0

NetApp  
July 23, 2024

# 目次

NetApp対応プラグインのインストール	1
ホストを追加し、プラグインパッケージをリモートホストにインストールする	1
コマンドレットを使用して、複数のリモートホストにLinux または Windows 用の SnapCenter プラグインパッケージをインストールします	5
コマンドラインインターフェイスを使用して、NetAppでサポートされているプラグインを Linuxホストにインストールする	6
NetApp対応プラグインのインストールステータスの監視	7

# NetApp対応プラグインのインストール

## ホストを追加し、プラグインパッケージをリモートホストにインストールする

ホストを追加するには、SnapCenterAdd Host ページを使用して、プラグインパッケージをインストールする必要があります。プラグインは、自動的にリモートホストにインストールされます。ホストの追加とプラグインパッケージのインストールは、個々のホストまたはクラスタに対して実行できます。

作業を開始する前に

- SnapCenter Adminロールなど、プラグインのインストールとアンインストールの権限のあるロールが割り当てられているユーザが必要です。
- メッセージキューサービスが実行されていることを確認してください。
- Group Managed Service Account（gMSA；グループ管理サービスアカウント）を使用している場合は、管理者権限を持つ gMSA を設定する必要があります。

["Windows Server 2016以降でカスタムアプリケーション用にグループ管理サービスアカウントを設定する"](#)

このタスクについて

SnapCenter サーバをプラグインホストとして別の SnapCenter サーバに追加することはできません。

クラスタ（WSFC）にプラグインをインストールすると、クラスタのすべてのノードにプラグインがインストールされます。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Hosts** を選択します。
2. 上部で [Managed Hosts] タブが選択されていることを確認します。
3. 「\* 追加」を選択します。
4. Hosts ページで、次の操作を実行します。

フィールド	手順
ホストタイプ	ホストタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• Windows の場合</li><li>• Linux の場合</li></ul> <p> NetAppでサポートされているプラグインは、WindowsとLinuxのどちらの環境でも使用できます。</p>


フィールド	手順
ホスト名	<p>ホストの完全修飾ドメイン名（FQDN）または IP アドレスを入力します。</p> <p>SnapCenter は、DNS の適切な設定によって異なります。そのため、FQDN を入力することを推奨します。</p> <p>Windows 環境の場合、信頼されていないドメインホストの IP アドレスは、FQDN に解決される場合にのみサポートされます。</p> <p>スタンドアロンホストの IP アドレスまたは FQDN を入力できます。</p> <p>SnapCenter を使用してホストを追加する際、ホストがサブドメインの一部である場合は、FQDN を指定する必要があります。</p>
クレデンシャル	<p>作成したクレデンシャル名を選択するか、新しいクレデンシャルを作成します。</p> <p>このクレデンシャルには、リモートホストに対する管理者権限が必要です。詳細については、クレデンシャルの作成に関する情報を参照してください。</p> <p>クレデンシャルの詳細を表示するには、指定したクレデンシャル名にカーソルを合わせます。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>クレデンシャル認証モードは、ホストの追加ウィザードで指定したホストタイプによって決まります。</p> </div>

5. [インストールするプラグインを選択してください\*] セクションで、インストールするプラグインを選択します。


リストから次のプラグインをインストールできます。

- MongoDB
- ORASCPM（Oracleアプリケーションとして表示）
- SAP ASE
- ORASCPM
- SAP MaxDB
- ストレージ

6. (オプション) \*[その他のオプション]\*を選択して、他のプラグインをインストールします。

フィールド	手順
ポート	<p data-bbox="841 153 1487 226">デフォルトのポート番号をそのまま使用するか、ポート番号を指定します。</p> <p data-bbox="841 258 1487 394">デフォルトのポート番号は 8145 です。SnapCenter サーバがカスタムポートにインストールされている場合は、そのポート番号がデフォルトポートとして表示されます。</p> <div data-bbox="873 447 1442 615"><p data-bbox="992 447 1442 615">プラグインを手動でインストールし、カスタムポートを指定した場合は、同じポートを指定する必要があります。そうしないと、処理は失敗します。</p></div>

フィールド	手順
インストールパス	<p>カスタムプラグインは、Windows システムと Linux システムのどちらにもインストールできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 用 SnapCenter Plug-ins パッケージのデフォルトパスは <code>C : \Program Files\NetApp\SnapManager</code> です。</li> </ul> <p>必要に応じて、パスをカスタマイズできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SnapCenter Plug-ins Package for Linuxの場合、デフォルトパスは <code>/opt/NetApp/snapcenter</code> です。</li> </ul> <p>必要に応じて、パスをカスタマイズできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SnapCenter Custom Plug-ins の場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>i. [Custom Plug-ins]セクションで、*[Browse]*を選択し、zip形式のカスタムプラグインフォルダを選択します。</li> </ul> <p>zip 形式のフォルダには、カスタムプラグインコードと DESCRIPTOR .xml ファイルが含まれています。</p> <p>ストレージプラグインの場合は、<code>C:\ProgramData\NetApp\SnapCenter\Package Repository</code> を選択します。Storage.zip フォルダ。</p> <li>ii. [アップロード]*を選択します。</li> </li></ul> <p>パッケージをアップロードする前に zip 形式のカスタムプラグインフォルダ内の記述子 .xml ファイルが検証されます。</p> <p>SnapCenter サーバにアップロードされたカスタムプラグインが表示されます。</p>
インストール前のチェックをスキップします	<p>プラグインを手動でインストール済みで、プラグインのインストール要件をホストが満たしているかどうかを検証しない場合は、このチェックボックスを選択します。</p>

フィールド	手順
プラグインサービスを実行するには、Group Managed Service Account (gMSA ; グループ管理サービスアカウント) を使用します	<p>Windows ホストの場合、プラグインサービスの実行にグループ管理サービスアカウント (gMSA) を使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <p> gMSA 名を domainName\accountName\$ の形式で指定します。</p> <p> gMSA は、SnapCenter Plug-in for Windows サービスのログオンサービスアカウントとしてのみ使用されません。</p>

7. [送信] を選択します。

「\* 事前確認をスキップ」チェックボックスを選択していない場合、ホストがプラグインのインストール要件を満たしているかどうかを検証されます。ディスクスペース、RAM、PowerShell のバージョン、.NET のバージョン、場所 (Windows プラグインの場合)、および Java のバージョン (Linux プラグインの場合) が、最小要件に照らして検証されます。最小要件を満たしていない場合は、対応するエラーまたは警告メッセージが表示されます。

エラーがディスクスペースまたは RAM に関連している場合は、C : \Program Files\NetApp\SnapManager WebApp にある web.config ファイルを更新してデフォルト値を変更することができます。エラーが他のパラメータに関連している場合は、問題を修正する必要があります。



HA セットアップで web.config ファイルを更新する場合は、両方のノードでファイルを更新する必要があります。

8. ホストタイプがLinuxの場合は、フィンガープリントを確認し、\*[確認して送信]\*を選択します。



同じホストを以前に SnapCenter に追加し、フィンガープリントを確認した場合でも、フィンガープリントの検証は必須です。

9. インストールの進行状況を監視します。

インストール固有のログファイルは次の場所にあります。 /custom\_location/snapcenter/ ログ。

## コマンドレットを使用して、複数のリモートホストに **Linux** または **Windows** 用の **SnapCenter** プラグインパッケージをインストールします

Install-SmHostPackage PowerShell コマンドレットを使用すると、複数のホストに Linux または Windows 向け SnapCenter プラグインパッケージを同時にインストールできます。

作業を開始する前に

ホストを追加するユーザには、ホストに対する管理者権限が必要です。

手順

1. PowerShell を起動します。
2. SnapCenter サーバホストで、Open-SmConnection コマンドレットを使用してセッションを確立し、クレデンシャルを入力します。
3. Install-SmHostPackage コマンドレットと必要なパラメータを使用して、複数のホストにプラグインをインストールします。

コマンドレットで使用できるパラメータとその説明については、RUN\_Get-Help コマンド *NAME* を実行して参照できます。または、を参照することもできます "[SnapCenter ソフトウェアコマンドレットリファレンスガイド](#)"。

プラグインを手動でインストールし、プラグインをインストールするための要件をホストが満たしているかどうかを検証しない場合は、-skipprecheck オプションを使用できます。

4. リモートインストールのクレデンシャルを入力します。

## コマンドラインインターフェイスを使用して、NetAppでサポートされているプラグインをLinuxホストにインストールする

NetAppでサポートされているプラグインは、SnapCenterユーザインターフェイス (UI) を使用してインストールする必要があります。SnapCenter UIからのプラグインのリモートインストールが許可されていない環境では、NetAppでサポートされるプラグインを、コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用してコンソールモードまたはサイレントモードでインストールできます。

手順

1. SnapCenter Plug-ins Package for Linuxインストールファイル (snapcenter\_linux\_host\_plugin.bin) を C:\ProgramData\NetApp\SnapCenter\Package Repository から NetApp 対応プラグインをインストールするホストにコピーします。

このパスには、SnapCenter サーバがインストールされているホストからアクセスできます。

2. コマンドプロンプトで、インストールファイルをコピーしたディレクトリに移動します。
3. プラグインをインストールします。'path-to\_installation\_bin\_file/ snapcenter\_linux\_host\_plugin.bin -i silent -dport=port\_number\_for\_host-DSERVER\_IP=server\_name\_or\_IP\_address -DSERVER\_HTTPS\_port=port\_number\_for\_server

- -dport には、SMCore HTTPS 通信ポートを指定します。
- -DSERVER\_IP は、SnapCenter サーバの IP アドレスを指定します。
- -DSERVER\_HTTPS\_PORT には、SnapCenter サーバの HTTPS ポートを指定します。
- -duser\_install\_DIR - SnapCenter Plug-ins Package for Linux をインストールするディレクトリを指定します
- DINSTALL\_LOG\_name は、ログファイルの名前を指定します。



```
/tmp/sc-plugin-installer/snapcenter_linux_host_plugin.bin -i silent
-DPORT=8145 -DSERVER_IP=scserver.domain.com -DSERVER_HTTPS_PORT=8146
-DUSER_INSTALL_DIR=/opt
-DINSTALL_LOG_NAME=SnapCenter_Linux_Host_Plugin_Install_2.log
-DCHOSEN_FEATURE_LIST=CUSTOM
```

4. Add-Smhost コマンドレットと必要なパラメータを使用して、ホストを SnapCenter サーバに追加します。

コマンドで使用できるパラメータとその説明については、`RUNNING Get Help command_name _` を使用して参照できます。または、を参照することもできます "[SnapCenter ソフトウェアコマンドレットリファレンスガイド](#)"。

5. SnapCenterにログインし、UIまたはPowerShellコマンドレットを使用して、NetAppでサポートされているプラグインをアップロードします。

NetAppでサポートされるプラグインは、のセクションを参照してUIからアップロードできます "[ホストを追加し、プラグインパッケージをリモートホストにインストールする](#)"。

PowerShell コマンドレットの詳細については、SnapCenter のコマンドレットのヘルプを使用するか、コマンドレットのリファレンス情報を参照してください。






"[SnapCenter ソフトウェアコマンドレットリファレンスガイド](#)"です。

## NetApp対応プラグインのインストールステータスの監視

SnapCenter プラグインパッケージのインストールの進捗状況は、Jobs ページで監視できます。インストールの進捗状況をチェックして、インストールが完了するタイミングや問題があるかどうかを確認できます。

このタスクについて

以下のアイコンがジョブページに表示され、操作の状態を示します。

-  実行中です
-  正常に完了しました
-  失敗しました
-  警告で終了したか、警告が原因で起動できませんでした
-  キューに登録され

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Monitor** をクリックします。
2. [\* Monitor\*] ページで、[\* Jobs] をクリックします。
3. [ジョブ] ページで、プラグインのインストール処理のみが表示されるようにリストをフィルタリングするには、次の手順を実行します。

- a. [\* フィルタ\* (Filter\*) ]をクリック
  - b. オプション：開始日と終了日を指定します。
  - c. タイプドロップダウンメニューから、\* プラグインインストール\* を選択します。
  - d. Status ドロップダウンメニューから、インストールステータスを選択します。
  - e. [適用 (Apply) ]をクリックします。
4. インストールジョブを選択し、[\* 詳細\*] をクリックしてジョブの詳細を表示します。
  5. [\* ジョブの詳細\*] ページで、[\* ログの表示\*] をクリックします。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。